

じつじちは。今日も頑張りますしよ。

☆前回のプリントの解説動画をアップしました。確認してからプリントに取り組んでください。

Vol.1

<https://youtu.be/cRwd-Ga38NE>

vol.2

[https://youtu.be/imKPe9HM\\_G8](https://youtu.be/imKPe9HM_G8)

☆前回と同じ、印刷ができる人は印刷してプリントに直接記入しましょう。印刷がむずかしい人は、画面を見ながらポイントだけをメモして答えを記入しましょう。

本日の課題（段落分け・段落ごとの内容確認）

1 「国語総合ガイド」p348の「西垣通」の解説を読んでください。

2 「知識社会という幻想」を次の三つの段落に分けてください。（教科書にチェック）

第一段落 p264～p265 9行目

第二段落 p265 10～p267 10行目

第三段落 p267 11行目～最後

3 次の第一段落の要約文を読んでください。（意味のわからない語句は調べること）

人間にとって「知」とは何か。二十一世紀は「知識社会」だと言われるが、評価表の各項目をなす断片的データのようなのが「情報」、情報群を体系的にまとめた評価表のようなのが「知識」だと定義されている。

いかなる知識も情報もグローバルな経済秩序に組み込まれ、うまく組み込めない知識・情報は無視される。この種の考え方は市場原理を奉じる新自由主義的なグローバルバブルの潮流によってもたらされた。

4 右の要約文と本文を参考に内容を整理してみましょう。（ ）に入る適切な語句を本文から抜き出し、記入する。

人間にとって「知」とは何だろうか（本文全体の問題提起）

一般的な考え方※筆者の意見

二十世紀……（1 ）

**富の源泉**

⇔ 二十一世紀……（2 ）

（3） のようなもの 〓 「情報」

（4） のようなもの〓 「知識」

（5） をきちんと定める

第三者からなる（6） などの機関を作る

（7） に基づいて正しく評価し結果を公表する

（8） を活用して知識を入手して、あとは（9） での競争にまかせる

←

いかなる知識も情報も

（ ）な経済秩序に組み込まれる

うまく組み込まない知識・情報は無視される

社会的なメカニズムの一環

→

市場原理を奉じる（11.

）的なグローバリズムの潮流

○ 第一段落の内容を理解できましたか？ 次回は第二段落の内容を確認しましょう。